小学5・6年生レヴェル国語文章読解問題 1B　03

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

トップで走るランナーに、二位のランナーがぐんぐんと追いついてくる。先ほどまで一キロ以上離れていたのに、あと百メートルまで迫ってきてもうすぐ追いつきそう。いや、このまま追い抜かしていくのでは。このレースの結末をあなたはどのように予想しますか。

A　二位が一位を追い抜かして逆転優勝する。

B　二位が一位に追いついてゴールまで二人の競り合いになり、僅差でどちらが勝つ。

C　二位は一位に追いつきそうで追いつけずに、一位がそのまま優勝する。

予想できそうな展開を書いてみましたが、いったいどれになるのでしょうか。

もちろんその時の選手の実力や残りの体力、今までのレースの展開など様々な状況によって異なるので、その時々のいろいろな結果になるでしょう。でも私たちは、なんとなくAの展開を予想しているように思います。後ろから迫ってくる選手がトップに追いついて逆転して欲しいと思ってしまうのです。

それはマラソンや駅伝（ア）などのレースだけではなく、高校野球の甲子園などでもそうです。どちらも自分の地元とは無関係の高校のチームなのに、私たちはなぜか負けている方を応援したくなります。そして逆転して勝つという展開を期待（イ）してしまうのです。

では、逆転は起きているのでしょうか。たしかに私たちは実際に多くの逆転劇を目撃してきたと思います。残り十メートルで逆転して金メダルの水泳。残り数分での同点と逆転のサッカー。相手があと一ポイントで勝つところから大逆転でのフェンシング。そうした劇的な逆転劇は印象に深く残っています。

しかし、データを見てみると実は逆転はとても少ないのです。例えばサッカーでは先に一点を取った方が約七割の確率で勝利します。引き分けがあるか無いかなどルールの決め方、その国のリーグの状況などの違いによって多少の誤差はありますが、どこのリーグの数値もだいたい同じです。さらには先に二点を取って2対0にすると、九割を超える確率でリードした方が勝ちます。つまり、先に二点を取られて0対2にされたほうが勝つ確率は一割以下なのです。

冒頭のマラソンや駅伝のレースはどうなのでしょうか。これも結果はCが多いのです（ウ）。二位の方が追いつきそうに思いますが、追いつこうとしてエネルギーをたくさん使っているので、追いつきそうなところで疲労（ひろう）が溜（た）まってしまい、一位に追いつけないという展開が実際のレースです。サッカーでも陸上の長距離レースでも、リードしている方が有利なのです。

ではなぜ私たちは逆転を多く目にしてきたように思うのでしょうか。おそらくそれは逆転劇がとても印象深い出来事として記憶に刻まれるからなのでしょう。それが［エ］に残っていることによって、また逆転劇を見たいという気持ちがあるので、そうした展開をキタイしているのだと思います。

（縞井　一樹「いびつな真珠を上手く弾く」より）

問1　傍線部＿＿＿＿ア・イの漢字と同じ漢字を含む選択肢を選びなさい。

ア　駅デン
1　スイデンに稲を植える。
2　デンワをかける。
3　デントウのお祭り
4　デンシャに乗る。

イ　キタイ
1　病院でホウタイを巻かれた。
2　高校のタイケン入学へ行く。
3　彼はタイカクの良い人だ。
4　演奏会にショウタイされる。

問2　傍線部（ぼうせんぶ）＿＿＿＿ウ　の結果はCが多いのです　の理由として合っている選択肢を選びなさい。

1　追いつくまでに力をたくさん使っているので疲れてしまうから。
2　リードしている方がだいたい有利だから。
3　逆転に応えようとする心が、かえって負担になってしまうから。
4　選手も本当は逆転が少ないという真実を知っているから。

問3　［エ］に入る漢字一文字の言葉を、考えて入れなさい。

［　　］

問4　本文の内容と合っている選択肢2つ選びなさい。

1　勝負事というのはリードしている方が常に有利であり、私たちが想像している逆転劇は全くない。
2　私たちは逆転劇になることを想像してしまうが、実際にはサッカーでは多いが、陸上では少ない。
3　サッカーでは点数を先に取った方が、約九割の確率で勝利する。
4　私たちは負けている方が逆転する展開をつい想像してしまうが、実際には少ない。
5　高校野球でも負けている方を応援したくなるが、イケメンがいれば別である。
6　スポーツなどの劇的な逆転劇は、私たちの記憶に深く残りやすい。
7　実際には逆転劇は少ないので、勉強なども早くから始めた方が有利である。